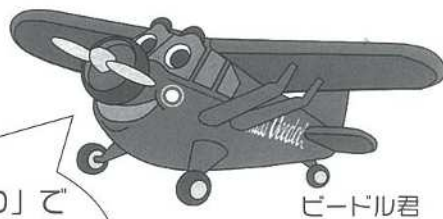




# みさわ

2007年  
(平成19年)  
**臨時増刊号**



今回の「広報みさわ」では、三沢市の財政状況をボクが紹介するよ



最近、国や地方自治体の財政危機に関する情報が、テレビや新聞等で取り上げられています。

こうしたなか青森県は、県内40市町村の平成19年度実質公債費比率を公表しましたが、この報道を新聞紙上でご覧になった方もいらっしゃると思います。

実質公債費比率とは、自治体の借金の負担の割合を示す指標で、前年度までの過去3年間の平均値で表されます。この数値が18%を超えると借金をするとき一部制限を受けることになります。

三沢市の数値は、20.3%で、県の協議が必要な許可団体。これからアメリカ村建設や新市立病院建設など、高額な費用がかかる事業を抱えており、このまま行くとさらにこの数値は高まることが予想されています。

今回の臨時増刊号は、これらの実状を市民の皆さんに知っていただき、これから何をすべきか、ともに考えていくために企画したものです。



## アメリカ村建設



## 新市立病院建設

広報  
みさわ

2007  
臨時増刊号

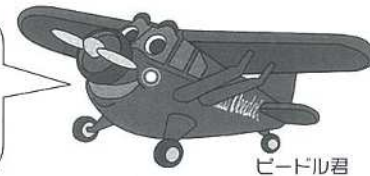
発行 三沢市役所  
〒033-8666 青森県三沢市桜町1-1-38  
編集 まちづくり課  
Eメール misawa03@net.pref.aomori.jp  
FAX 52-5655



JQA-EM4384  
三沢市役所本庁舎内

環境に配慮した  
まちづくりに取り組みます

三沢市の財政状況のきびしさは、わかってもらえたかな。市ではこれらを改善するためにいろいろなことを行っているよ。



### 行政改革について

現在三沢市では、歳入の確保、歳出の削減を主な目的とした「三沢市集中改革プラン」を策定し、これを着実に実施しています。これから先も国による地方交付税や補助金の削減、高齢化社会の進展に伴う社会保障費の増加などが予測されることから、建設事業の抑制を図るとともに、行政改革をより一層推進し、健全な財政運営に取り組んでいきたいと考えております。

そのため、今後も集中改革プランの見直しを図り、更なる行政改革の推進に努めてまいりますので、市民の皆様には受益者負担や市民サービスの見直しなどにつきましても、ご理解とご協力をお願いいたします。

○ 集中改革プラン：【H16年度と比較した各年度の財政効果額です。】 (単位：千円)

H17年度		H18年度		H19年度	H20年度	H21年度
計画額	実績額	計画額	実績額			
193,958	247,349	647,481	736,454	614,485	660,407	743,026

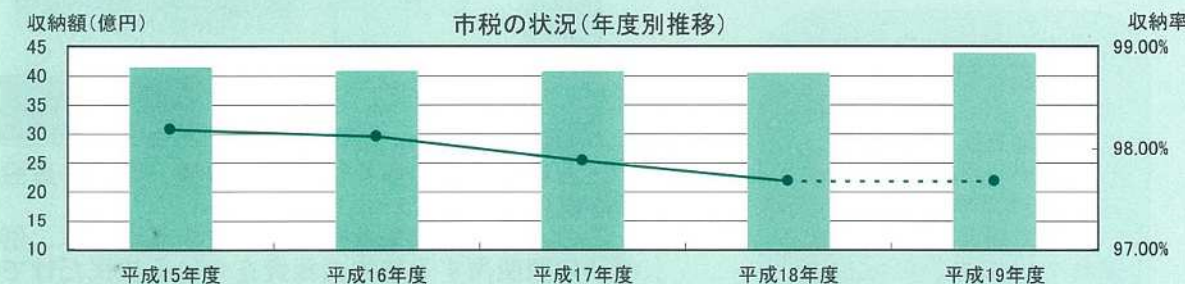
#### <歳入を確保するための主な施策>

徴収強化（戸別訪問）、使用料・手数料等の見直し、ごみの有料化、遊休財産の売却促進、広報紙等への有料広告

#### <歳出を削減するための主な施策>

人件費の削減等、指定管理者制度の導入、施設等維持費の見直し、補助金・負担金の見直し、建設事業の抑制（優先化）

### 収納率向上策について



市税の収納額は棒グラフのとおり推移しています。折線グラフは収納率で、年々減少傾向にあります。なお、平成19年度の収納額と収納率は見込みの数値で、収納額が増加しているのは、税源移譲により市民税の増が見込まれるためです。

現在三沢市では、夜間の納税相談窓口の開設や口座振替による納付を行っています。今後は、納税しやすい納期の設定や、コンビニ収納、クレジット収納ができるように進めて参りますので、市民の皆様のご協力をお願いいたします。

### 指定管理者の公募のお知らせ

平成20年度から指定管理者制度を導入する三沢市立図書館と三沢市立おおぞら児童センターの指定管理者をそれぞれ募集いたします。

既に、三沢市ホームページとマックテレビでは募集を行いました。広報紙に掲載する公募要件を欠いていたことから、市民の皆さまに広く周知するため、改めて募集するものです。

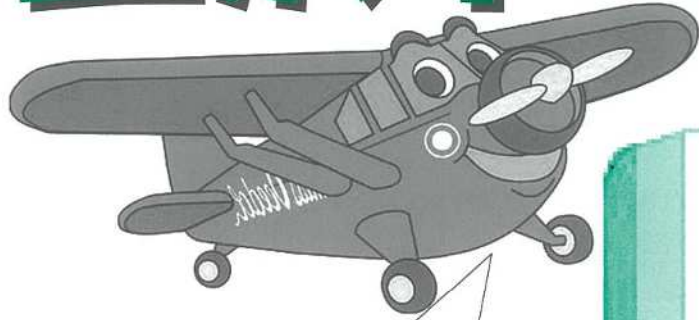
現地説明会 10月29日(月)  
 申請書受付開始日 10月30日(火)  
 申請書受付締切り 11月9日(金)  
 午後3時必着

審査結果の通知 11月下旬  
 指定管理開始 平成20年4月1日  
 募集要項、業務基準書、申請書など詳しくは下記までお問合せください。

□ 三沢市立図書館・・・53-6040

□ 三沢市立おおぞら児童センター・・・51-8774

# 三沢市の家計簿



三沢市は、国庫支出金や※基地交付金など三沢基地に関係した収入が多いのが特徴だね。  
これらの収入は、道路の整備やいろいろな施設の整備・改修などに使われているよ。  
三沢市の施設が充実してるのは、そのためなんだね。

※基地交付金は、国有提供施設等所在市町村助成交付金の略称。

皆さんからいただいている市税をはじめ、各自治体間の財源調整を目的に国が地方に交付している地方交付税や、国が地方の徴収事務を代行している地方譲与税などが含まれています。  
三沢市の市税は、収入全体の19.0%です。

予算や決算には、よく聞く一般会計、特別会計の他に普通会計と呼ばれる会計があります。  
普通会計とは、個々の自治体ごとに各会計の範囲が違い、財政比較や統一的な試算が困難な為に同じ基準、同じ範囲で会計をまとめたものです。  
今回は、その『普通会計』による平成18年度の決算見込み数値を元にしていきます。

総支出額の約3割を占める投資的経費の平成18年度に行われた主な事業は、以下のとおりです。

- 中央町地区都市再生土地区画整理事業 11億4,200万円
- 市道大町・中央町線整備事業 5億6,300万円
- 三沢対地射撃場周辺集団移転先地公共施設整備事業 4億1,800万円
- 市道大町・ゲート前東線歩道整備事業 3億4,000万円

投資的経費の総額 61億9,600万円

## 平成18年度分の総収入・総支出額

収入内訳		金額	割合(%)
給料	市税、地方交付税など	255	46.4
パート収入	使用料、分・負担金など	20	3.6
親からの援助	国庫、県支出金など	204	37.2
銀行借入	市債	39	7.1
預金引当	繰入金	5	0.9
繰越金	繰越金	7	1.3
その他	寄附金、諸収入	19	3.5
収入計	歳入計	549	100.0

貯金の残高 59万円

三沢市の借金の多くは道路の整備、学校の建設等の事業に使われています。  
このように建設事業等に借金をする理由は、例えば30年間使用する建物の経費を今いる住民だけで負担するのは、むしろ、将来の住民との公平性に欠けることにもなることから、将来の住民にも等しく負担を求めるための手段の一つでもあります。

## (平成18年度決算見込みの状況)

支出内訳		金額	割合(%)
食費	職員にかかる人件費	101	18.8
医療費等	生活保護等にかかる扶助費	75	14.0
光熱水費等	委託料などの物件費	70	13.0
家具等の修理代	維持補修費	1	0.2
冠婚葬祭費等	補助金などの補助費等	26	4.8
株などの投資	投資及び出資金	3	0.6
友人への貸付金	貸付金	7	1.3
子供への仕送り	繰出金	36	6.7
借金の返済	公債費	61	11.4
家の増改築等	建設事業等の投資的経費	157	29.2
支出計	歳出計	537	100.0

借入金の残高 541万円

「頑張りの成果」を普通交付税の算定に反映

## 算定結果

市名	金額
青森市	177,807
弘前市	653,485
八戸市	384,049
黒石市	246,236
五所川原市	365,509
十和田市	315,362
三沢市	70,105
むつ市	258,501
つがる市	130,016
平川市	276,366

成果指標 9つの指標が頑張りの成果を判断する基準。行政改革、出生率etc...

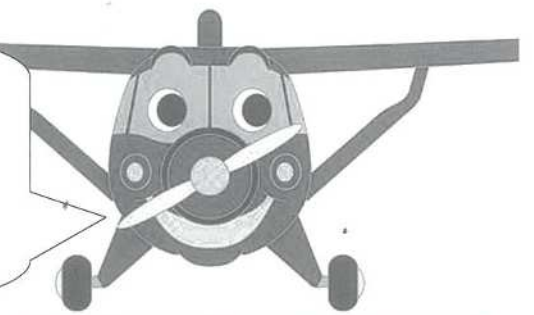
三沢市は、県内市部で「頑張る地方応援プログラム」による普通交付税の算定額が1番低い金額でした。

### 理由：指標「行政改革」の評価が低かったため

- 市税徴収額が前年度を下回ったため…市税徴収率は県内市部で一番高かったにもかかわらず、移転先地買い上げに伴う譲渡所得が平成16年度で終了したため個人市民税が減少し、平成17年度市税徴収額が前年を下回ったことが要因です。
- 歳出削減率が低かったため…平成15年度以降に供用を開始した施設(国際交流教育センター、大空ひろば等)の管理費が増加し、県内市部では青森市に次いで低い水準となり、少なく算定されました。なお、全国的に比較した場合、削減率は全国平均を上回っています。(H17とH14の比較によるもの)

家庭の家計と市の財政は、お金の使い道も規模も違うので単純には比べられないけど、三沢市民所得(1,005億4,800万円)を世帯数(18,328世帯)で割った、三沢市の一世帯当たりの平均値549万円に例えてみたよ。

その結果、収入では親からの援助(国・県支出金)が多く、支出では家の増改築等(建設事業等)が大きな割合を占め、また、借入金の残高が多くなっていて、これからの大型事業の推進のためには、更なる行財政改革の推進が必要なんだね。



支出の約2割が人件費で39億5,800万円です。  
また、三沢市民約4万3千人を職員数455人で割ると、市民約95人に対し職員1人が働いていることになります。

病院(3億7,200万円)、下水道事業(4億2,400万円)、介護保険(3億6,800万円)、国民健康保険(3億4,600万円)など、皆さんの生活に密接に関わる企業会計及び特別会計にも支出されています。

## 頑張る地方応援プログラム

やる気のある地方が自由に独自の施策を展開することにより「魅力ある地方」に生まれ変わるよう、地方独自のプロジェクトを自ら考え、前向きに取り組む地方自治体に対し、地方交付税等の支援措置を講ずるものです。  
9月議会において一般質問が出され、また、新聞報道により市民の皆様にも多大なご心配をおかけした地方交付税の『頑張る地方応援プログラム』に基づく三沢市の算定額が県内市部で一番低かったことについて、その要因をご説明いたします。